

2023年 9月13日

千教組闘争速報6号①

県教委交渉（人事異動）

各支部長、各専門部長 様

千葉県教職員組合 中央執行委員長 渡邊 郁哉

人事異動に関する県教委交渉

連日のとりくみに敬意を表します。千教組は、9月12日、古川書記長をはじめ中央執行委員、各支部・各専門部等の代表者の参加のもと、千葉県教育委員会と人事異動に関する交渉を行いました。千教組の重点要求項目9項目にわたり、学校現場の声をもとに要望を行い、回答を求めました。

<県教委への主な要望>

※現場の声

- ①本人の「希望と承諾」を前提とした人事異動、対象者に寄り添った管理職の丁寧な対応
- ②とりわけ、定年退職をひかえた教職員については、本人の希望を十分に尊重し配慮する対応
- ③一人職種における初任者研修に係る非常勤講師の4月1日からの配置
※栄養教職員部 大口部長より「初任者指導教員4月1日からの配置の必要性について」
- ④新卒の講師等、経験の浅い講師への指導教員の配置
※香取支部 佐久間書記長より「経験の浅い講師への指導教員の配置について」
- ⑤定数内臨時採用の解消
- ⑥復職制度の新設
- ⑦定年引上げの丁寧な情報提供及び対象者への任命権者による説明
- ⑧教職員の未配置問題解消に向けた実効性ある方策
※印旛支部 木村書記長より「未配置の学校の実態とその解消について」
- ⑨千葉県が授与した免許状以外についても、申請手続きに必要な書類の簡素化

<県教委からの主な回答>

- ①個別の事情や希望を十分に聞いた上で、丁寧な対応をしていく。
- ②個別の事情や希望等を十分に聴き、丁寧に対応する。
- ③経験者の確保及び速やかな配置に努めていく。
- ④慢性的な人手不足のため、千葉県の現状から考えると県単独配置は、現状は考えていない。
- ⑤できるだけ定数内臨時採用を解消して、正規教職員を配置していきたい。
- ⑥知事部局から提起のあった復職制度について注視し、今後の対応を検討していく。
- ⑦意向調査を昨年度より早めていく。周知についても調査の際に提供する。
- ⑧志願者確保に取り組み、教員不足の解消に向けた緊急対策事業にしっかりと取り組む。
- ⑨失効した免許状を授与した都道府県に限られる。申請手続きは、大きく簡素化した。

交渉の終わりに、古川書記長は「一人でも多くの方が学校現場で働きたいと思える環境を整えていくことが大切である。まだまだ千葉県としてできることがあるのではないかと。何とかして今の状況を変えない限り、学校現場をより良くすることはできない。特に定年引上げに関わることは、昨年度末のように教職員に届く情報に差が出ないようにしていただきたい。千教組は、教職員の人事異動を非常に重要と考えている。一人ひとりに寄り添った人事異動をすることで、教職員のモチベーションを上げ、学校の活性化につながる。そのためには教職員が納得のいく人事異動が不可欠である。是非『個人の事情や希望を十分に聞いた丁寧な人事異動』が県内全域で行われるよう、引き続きご尽力いただきたい。特に、年度末定年引上げに関わる教職員の異動に関しては、残り年数等を十分考慮していただくことを再度お願いしたい。」と申し述べ交渉を終わりました。

わたしたち教職員にとって、人事異動は非常に大きなことです。家族のことや自身のことについての悩み等は、しっかりと所属校の管理職に伝えましょう。そして、各支部でも相談できます。ご心配なことがあれば、いつでもお気軽に各支部にお問い合わせください。